



三重県交通安全研修センターだより



三重県交通安全研修センターでは、幼児から高齢者までの皆様に、日常生活の中で潜んでいる交通に関する様々な危険について学習して頂き、楽しみながら身をもって交通のルールやマナーを自由に学ぶことが出来る施設です。

実際に【聞いて・見て・体験する】ことが大切です。ぜひお気軽にお越し下さい。
また【団体研修】も行なっておりますので、お電話またはホームページよりご予約下さい。

< 屋外体験 >



～ 交通公園 ～



～ スキッド体験 ～

< 屋内体験 >



～ 展示ゾーン ～



～ シミュレータ～ ～ 四輪事故体験コーナー～

ご利用は無料です

◇開館時間 午前9：30～午後4：30

◇休館日 土曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）

<住所> 〒514-8518 津市垂水2566 三重県運転免許センター4階

<TEL> 059-224-7721

<FAX> 059-224-7641

<ホームページ> <http://www.safetyplaza-mie.com>

◆電車でお越しの方◆

近鉄名古屋線 「南が丘」駅 下車徒歩約10分

◆バスでお越しの方◆

三交バス 「運転免許センター前」停留所 下車徒歩約2分

◆自動車でお越しの方◆

国道23号線津市西阿漕町交差点から

→ 県道久居停車場津線（旧国道165号線）で久居方向へ約2km

伊勢自動車道久居ICから

→ 国道165号線で津市方向へ約3.5km

1



夕暮れ時から夜間の交通安全

… 夕暮れ時の危険 …

① 交通量が増え、流れが停滞しやすくなり、混雑する。

帰宅する車、下校する学生や買い物帰りの自転車や歩行者など、交通量が増えます。

② 急ぎの心理から安全確認が甘くなる。

早く帰りたいと先を急ぐ心理が働き、安全確認が甘くなりがちです。

③ 注意力が低下し、うっかり・ぼんやりがある。

1日の仕事などを終えた安堵感や疲労感から注意力が低下しやすい時間帯です。

④ 歩行者などが見えにくくなり、発見が遅れる。

明暗のコントラストが弱まるため、物の形が見えにくくなります。



見るためのライト・見られるためのライトと反射材

これからの時期は日がおちるのが早くなります。夕暮れは1日のうちで交通事故が多発する時間帯です。早めにライトを点灯し、安全運転をより確実なものにしましょう。また、夜間の歩行者や自転車はドライバーから発見されにくいので、反射材を活用するのも大変効果的です。

自分の視界を確保するとともに、他の交通に対して自分の存在をアピールしましょう。



夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動
期間：平成21年10月1日～12月31日まで

【おしらせ】

三重県交通安全研修センターでは、個人・グループ・団体で、夜間の交通安全について興味・関心がある方々を対象に、交通安全ナイトスクールを開催します。

開催日時：平成21年11月24日（火） 13：00～18：30

詳しくは当センターのホームページをご覧ください。か、お電話にてお気軽にお問い合わせください。

<http://www.safetyplaza-mie.com>

TEL：059-224-7721 担当：林

わくわく ときどき 体験しよう！

… 楽しく学ぼう！交通安全学習フェスタ を開催しました …



平成21年10月17日(土)「聞く・見る・体験する」をテーマに今年で4回目を迎えた『楽しく学ぼう！交通安全学習フェスタ』を開催しました。

地元の幼稚園や和太鼓隊、高校生の素晴らしい演舞・演奏をはじめ、各地区安全協会女性部の子どもから大人まで楽しんでいただける催しに、パトカー同乗体験・白バイ展示、お弁当やパン・クッキーの特別販売もあり、会場には約1000名もの方々がご来場いただき大盛況でした。

フェスタの様子の一部をご紹介します。



開会式の様子です。



一階ホールにて、各団体の皆様による楽しい発表が行われました。

清泉幼稚園の鼓隊演奏
津商工会議所青年部 元気玉
和太鼓の演舞



白バイ展示や試験コースでのパトカー同乗体験！



子ども達に大人気！
子ども免許証とストップキーホルダー作成のコーナー

ストラックアウトコーナー

スキッドコース



四輪車事故体験シミュレーション



安全運転シリーズ ③



危険予知（隠れた危険を探し出す）運転

あらゆる危険が察知できたら、運転はどんなに楽しいでしょう。
しかし、何人も完全に危険を察知することは難しいですが、一片の情報から危険を予測することは可能です。

見えない危険を読む

運転中は、事故を起こさないように、誰でも前方をよく見えています。しかし目に写るものだけに注意していたのでは、十分とは言えません。

◇バス停で停車中のバスの陰に、飛び出す者や横断しようとする者は、いないか？

◇雨降りの道路工事現場の路面に、滑りやすい鉄板があるかもしれない？

など可能性のある危険を予測し安全運転に努めましょう。

駐車車両のタイヤの向きを読む

駐車車両の側方を通り抜けようとした時、不意にその車のドアが開いたり、発進したりして急ブレーキを踏んだ経験はありませんか？

このような時、気を付けるポイントは、駐車車両のドア部とタイヤの向きです。

◇ドアを開ける時は、ドアノブを引きますから、まず最初にドアとボディの 合わせ目に隙間ができます。

◇発進する時は、その前にタイヤが必ず切られるはずですが。

などに着目し、万一の飛び出しなどに備えて安全な速度に減速しましょう。

窓の隙間（1 cm）からの情報

運転時の状況判断に必要な交通情報の大半は目から入りますが、耳から入る情報もなくてはならない重要なものです。

耳から入る情報とは、音です

◇雨の日は、窓ガラス・サイドミラー等に水滴がつき、目から入る交通情報が少なくなります。

こんな時に、ちょっとだけ窓に隙間を作れば、近づく救急車のサイレン・死角にいる隣のバイクなど、より多くの情報をキャッチすることができます。

◇窓を閉め切って、大音量で音楽などを聴いておれば、せつかくの情報も聞こえません。



危険信号を素早くキャッチし、重大なトラブルを回避し、安全運転に努めましょう。